

記者発表（発表・資料配付）				
月／日 (曜日)	事務所等名	電話	発表者(担当者)	配布先
2/24 (火) 14:00	兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター 農林水産部水産漁港課	078-941-8601  078-362-3476	所長 山下 正晶 (専門技術員 大野 泰史) 課長 望月 松寿 (漁政班主幹 大橋 広義)	

## 令和8年漁期 イカナゴシンコ（新子）の漁況予報

イカナゴは「春告魚」とも言われ、特にシンコ（新子）と呼ばれる稚魚を対象とした船びき網漁業は、兵庫県瀬戸内海における重要な漁業のひとつです。

この度、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センターで、イカナゴの親魚及び稚仔の調査結果をまとめましたので、その概要とともに、「令和8年漁期イカナゴシンコ（新子）漁況予報」を発表します。

### 1 イカナゴシンコ（新子）漁況予報

#### (1) シンコ漁予測（概要）

海 域	漁況予報
播磨灘	各海域とも、平年を大きく下回る
大阪湾	
紀伊水道	

※ 平年：各調査開始年から直近年までの平均値を基本とする。

#### (2) 調査結果

##### ア 産卵親魚の調査（調査期間 令和7年12月2日から令和8年1月6日）

主産卵場である鹿ノ瀬海域での親魚密度は、平年値を大きく下回った。産卵量指数（親魚の大きさを考慮して算出した産卵量の目安）も、平年値を大きく下回った。

※ 平年値 昭和61年～令和5年の平均

##### イ 稚仔の調査（調査期間 令和8年1月19日から28日）

1 調査点あたりの平均採集尾数は、播磨灘が0.05尾（昨年0.1尾、平年値8.2尾）、大阪湾が0.5尾（昨年0.3尾、平年値12.2尾）、紀伊水道が0.2尾（昨年0.3尾、平年値2.5尾）で、近年の不漁年の中でも分布量は低水準で、播磨灘では最低値であった。

※ 平年値 平成24年～令和6年の13年間の平均

#### (3) シンコ漁の予測

産卵量は非常に低水準であり、稚仔の分布量も同様であるため、今漁期も、播磨灘、大阪湾および紀伊水道の3海域ともほぼ漁獲が見込まれないことが予想される。

### 2 漁業者による資源管理の取組

本県の漁業者は、湾灘ごとに統一した解禁日や終漁日の設定などの資源管理に取り組んできましたが、近年は厳しい資源状態が続いています。このため、持続可能な漁業を目指し、引き続き、イカナゴの資源管理とともに、豊かな海づくりに向けた活動に取り組んでいきます。

### 3 お問い合わせ

（予測について）水産技術センター水産環境部（TEL 078-941-8601）

（取組について）農林水産部水産漁港課（TEL 078-362-3476）